

ルート協議会の新規応募について

石狩川流域圏ルート

令和4年3月14日

北海道サイクルルート連携協議会アドバイザー会議



○石狩川流域圏ルート協議会

- ・事務局 石狩川流域圏会議(R3,4年度:旭川市)
- ・構成員 石狩川流域圏会議、札幌開発建設部、旭川開発建設部、札幌建設管理部
旭川建設管理部

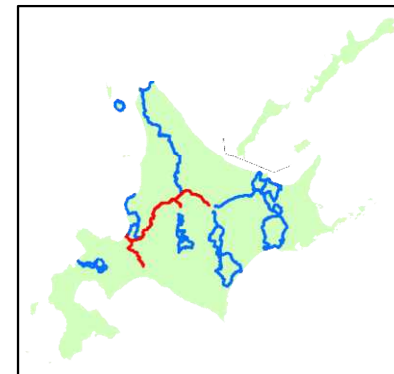
○平成23年度に石狩川流域圏会議を設立。「自転車で石狩川流域を結び流域全体の活性化を図ること」を目的として令和3年度から「石狩川流域圏ルート協議会」を設置し活動。

・ルート: 333km

・通過市町村: 千歳市、恵庭市、北広島市、札幌市、石狩市、当別町、新篠津村、岩見沢市、美唄市、奈井江町、浦臼町、新十津川町、砂川市、滝川市、妹背牛町、深川市、東神楽町、旭川市、比布町、当麻町、愛別町、上川町(全22市町村)

・自転車ネットワーク計画位置づけの有無: 無し

・地域ルートの有無: 有り



ルートの魅力

○キャンプフェーズ

・協議会として今後、設定する。

○主な経由地

国立公園: 支笏洞爺国立公園・大雪山国立公園

北海道遺産: 石狩川、空知の炭鉱関連施設、旭橋、北海幹線用水路

えにわ湖(漁川ダム)、えこりん村、千歳サケのふるさと館、名水ふれあい公園、古山貯水池自然公園、ルルマップ自然公園、旧島松駅通所、常磐公園、平和通買物公園、あさひかわ北彩都ガーデン、キトウシ森林公園、ひがしかぐら森林公園、大雪ダム

○その他

・地域ルートとして、石狩・空知・北空知・中空知・旭川・美瑛のルートを設定

ゲートウェイ(起終点)の考え方

・道外、海外サイクリストの誘客を想定し、新千歳空港、旭川空港、旭川駅をゲートウェイとして設定し、機能としては、レンタサイクル、自転車・荷物託送サービスや着替えスペース等の機能を設置する計画としている。

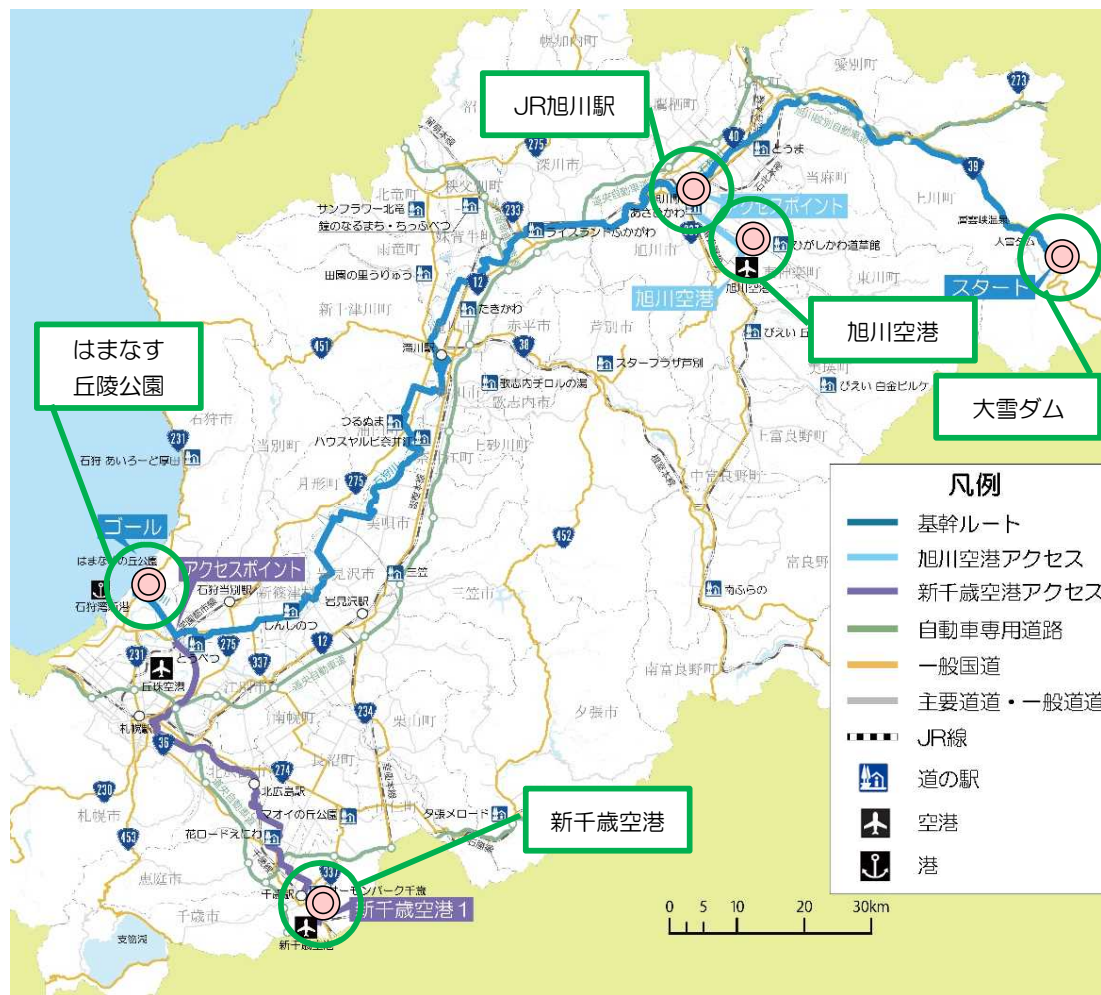
・本ルートは道内のサイクルルートの結節点にあり、石狩川河口において石狩北部・増毛サイクルルートと、また、大雪ダムにおいてトカプチ400やおホーツクサイクルリングルートとつながっていることから、これらの地点を起終点としている。

①ゲートウェイ: 新千歳空港、旭川空港、JR旭川駅

機能: マップ配布、サイクルラック、トイレ、水分補給、休憩スペース、ロッカー・着替えスペース、レンタサイクル、シャワーブース、自転車・荷物託送サービス、自転車組み立てスペース

②起終点: 大雪ダム、はまなすの丘陵公園

機能: トイレ、食事・喫茶、サイクルラック、空気入れ等(大雪ダムにおける機能については検討中)



- 石狩川流域の**全46市町村長**が一堂に会して**意見交換**する会議。H23年に、**流域の総合的な発展**に資することを目的に設立。
- 豪雨災害に対する**防災関連施策**や自然環境・流域資源を活かした**地域活性化**に関する施策について、関係機関が協働で推進。なお、平成28年には、流域の総合的な発展を図るための「**流域連携宣言**」が発出された。

構成

平成23年11月28日 石狩川流域の34市町村でスタート。
現在、**流域の全市町村(46市町村)**が加盟。

目的

石狩川流域にある市町村が流域の視点を持ち、協働で検討し、**流域の総合的な発展**に資すること。

流域連携宣言(H28.5)

流域の総合的な発展を図るため、石狩川流域圏会議、北海道知事、北海道開発局長による**流域連携宣言**を発出。

石狩川流域の安全・安心に資する取組

近年の気候変動等を鑑み、石狩川流域の災害被害の低減に向けた取組を推進。

豊富な地域資源を活かした活性化に資する取組

石狩川流域の更なる活性化に向け、流域の観光及び地場産業の活性化など地域の振興に向けた取組を推進。



<石狩川流域圏会議における施策>

○市町村職員を対象とした豪雨災害対策研修の実施

市町村職員を対象とした豪雨災害対策研修を実施し、出水時の対応についての知見の獲得やノウハウの向上を図る。



○流域連携による相互防災支援体制の構築

災害の発生状況に応じて各市町村長のリーダーシップにより、河川管理者との連携の下、流域自治体が相互支援する枠組みを構築を図る。

○石狩川流域サイクリングマップの作成・配布

「自転車で石狩川流域を結び流域全体の活性化を図ることを目的」としたサイクリングコースマップを作成し、空港等で配布。





石狩川流域サイクリングコースマップ検討WG（平成25年～平成30年）

- 【メンバー】（平成30年12月時点）
- ・石塚 裕也 サイクリングフロンティア代表取締役
 - ・植村 正人 一般社団法人 空知建設業協会
 - ・太田 明子 太田明子ビジネス工房代表
 - ・原文宏 北海道開発技術センター 理事
 - ・みやけ りかこ 北海道サイクリングツアー協会理事
 - ・森田 康志 石狩川振興財団 理事長
 - ・和田 眞宏 北海道サイクリング協会 副理事長
 - ・事務局（流域圏会議事務局）
 - ・オブザーバー（河川管理者（北海道開発局））



サイクリングマップ作成

- H26年度 石狩南部・空知南部編
- H28年度 旭川・美瑛編
- H30年度 北・中空知編
- R3年度 石狩川全図編

サイクルツーリズム推進WG（令和2年～3年）



令和3年度は、石狩川流域圏サイクルツーリズム推進WGを開催し、主にサイクリングルートの課題等について議論。（コロナ感染予防対策を徹底した中で実施）

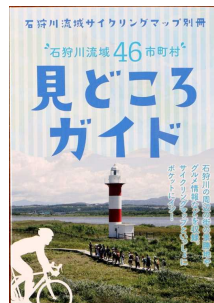
令和3年度第1回サイクルツーリズム推進WGの様子

- 【メンバー】
- ・植村 正人 一般社団法人 空知建設業協会
 - ・太田 明子 サッポロバイクプロジェクト合同会社
 - ・原文宏 北海道開発技術センター 理事
 - ・事務局（流域圏会議事務局）
 - ・オブザーバー（道路・河川管理者（北海道開発局））



【流域圏会議ロゴマーク】

【別冊観光ガイド】



令和3年度の取組

令和3年 9月	サイクルマップ(石狩川全図)をサイクルショップ等へ頒布
令和3年10月23日	石狩川流域圏サイクリングルート走行会in旭川の開催
令和3年10月30日	石狩川流域圏サイクリングルート走行会in空知の開催
令和3年11月4日	北海道のサイクルツーリズム推進方針に基づくルート協議会に応募。同年12月1日に受理
令和3年11月6日	石狩川流域圏サイクリングルート走行会in千歳の開催
令和3年12月24日	第1回 サイクルツーリズム推進WGの開催

【サイクルマップ表】



【サイクルマップ裏】



○札幌・旭川サイクリング協会、空知シーニック、関係自治体サイクル担当者(市町)等が参加し、石狩川流域圏ルートの一部を3ブロック(旭川市、南空知、千歳市)に分けて自転車で走行し、ルートの検証とサイクルツーリズムのPRを実施しました。

【in旭川】

実施日:2021年10月23日開催



【in南空知】

実施日:2021年10月30日開催



【in千歳】

実施日:2021年11月7日開催



○アンケート調査からは、以下の意見が出された。

- ・河川敷のサイクリングロードは車がなくて走りやすい。
- ・国道を走る部分は、大型車も走っており危険だ。ドライバーへサイクリングルートであることを周知する必要がある。
- ・長い区間サイクリングルートで、楽しめるて良い。
- ・標識について、分岐点には大きく標示してほしい。
- ・休憩ポイントが少ない。
- ・路面状況、グレーチング、側溝の危険箇所○今後の予定としては、アンケート調査により抽出された課題の改善に向けた調整を進める。

○石狩川流域圏サイクルルートは、石狩北部・増毛サイクルルート(ルート7)、きた北海道ルート(ルート1)とルートの一部が重複するため、この区間におけるルート案内表示方法について、検討を行った

看板の行先案内表示(案)

行き先が同じ場合の行先案内標識(案)



案-1



案-2

行き先が違う場合の行先案内標識(案)



	案-1	案-2
行先同じ	番号を横縮小する	新規案内表示を下に並べる
行先違う	矢印と番号を横縮小する	新規案内表示を下に並べる

路面における行先案内表示(案)

行き先が同じ場合の行先案内標識(案)



案-1



案-2



案-3

行き先が違う場合の行先案内標識(案)



案-1



案-2



案-3

	案-1	案-2	案-3
行先同じ	番号を横縮小する	新規案内表示を下に並べる	新規案内表示を横に並べる
行先違う	矢印と番号を横縮小する	新規案内表示を下に並べる	新規案内表示を横に並べる

河川空間における行先案内標示(案)

行先が同じ場合



案-1



案-2



案-3

行先が違う場合



案-1



案-2



案-3

	案-1	案-2	案-3
行先同じ	番号を横縮小する	新規案内表示を下に並べる	新規案内表示を横に並べる
行先違う	矢印と番号を横縮小する	新規案内表示を下に並べる	新規案内表示を横に並べる

- 北海道の水辺に関する情報を発信。
- 地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利用を促進します。

天塩川

名寄川(武四郎ライド)

留萌川(サイクリングマップ)

石狩川

網走川

尻別川

美瑛川・青い池サイクリングコース

鱒川

沙流川

十勝

かわたびほっかいどう 検索

沙流川(試走)

かわたびほっかいどう

検索

松浦武四郎 RIDE 2019